

北海道帯広（北海道第三）ひかりのやかた偉光会館開所

神 示 （令和四年四月二十四日 偉光会館開所式）

神魂がこの地に宿り 夢を手にする人が増えてゆく
信者に申す

——「教え」に悟りを深め 「実体」を修正する気持ち強く持つ——

「真理」に気付きを得るほど 人は 「運命」に心導かれ 「生きる」夢が芽吹く

この地の運命に 我が「運命」を重ね ますます「人生」に生きがい味わえる

「教え」を家族で学び 正しい関わりを深めるために 偉光会館に家族で出入りする

自然と家族の関わりは深まり 病気 事故・災いを遠ざける

神は 信者 世の人に 悔いなき人生を歩み抜く心を教える

知恵を学び 「正道」をゆく人を育む所が 偉光会館

この真実を知って 今こそ「教え」を学び 悟りを深める信者を目指す時

この時を大切に 我が「人生」を生かすため 偉光会館に心を向ける

向けるほどに 信者の人生は 神の手の中 守られ 導かれ

「正道」をゆく人と成る

この地は 人の心を優しく包み 「生きる」心のゆとりを育むものがある

大切にされよ

神 示 (令和元年九月十六日 北海道帯広信者勉強会)

「人生」あるべき姿眞実を教えん

人間は 体験を重ねながら 人生を高めてゆく

なれど 体験を生かす知識と知恵を欠いては 迷いを深める人人生となる

今日今日の社会を見詰めてごらん

眞理なき知識を絶対と信じ 頼って生きる人人々が多く

自ら「道」欠き 悩み 苦しむ体験を引き寄せ 迷いを深めてゆく

信者に申す

「教え」を学び 「人生」に生かす心を持つ

人 物との出会いが生かされ 生きがい多い生活が送れる

知識は 「運命」を磨き 高めるために 活用するところに 生きてくる

「教え」が信者の心人生に 「生きる」知恵を与え 「道」を守る心を引き出す

「道」は 人人間として守るべき人生の知恵

ゆえに 守るほどに

神の手の中 「運命」の力が引き出され 悪あしき「実体」は修正される

「人生」あるべき心を知って 心正しく「信者の道」を歩時代む時

神 示 (令和三年四月四日 建設用地清めの儀)

神魂宿るにふさわしい地土地と申す

「清め」を受けて この地地域に良き実体が見え始める

人人間の心を大きく包み 心気持ちに「ゆとり」が育つ地

「開所」を迎えるその日まで 今なすべきこと準備を教えよう

一つ この世社会の姿眞実 無常眞実に流れる眞理に気付くこと

二つ 「教え」に悟りを得る努力をする

家族で学ぶところに 悟りは深まる

三つ 「運命」を磨く努力をする

「教え」が実体を高め 目標目標を得た努力がかなう

「教え」を家族で学ぶほど 家族の心運命は一つに重なり

知識 情報に心振り回されることがない

この地の実体 出会いを育み 生かす 心のゆとりが この地域を包み込む

「眞実の愛」を身に修めることを目標に 「教え」を学信者ぶ我信者であれ

この思い信念が 信者の人生を守り 悔時代いなき時へと導いてゆく